



### 第1グループ

議長  
布施谷航平さん  
(平岡小)



《答弁》 池田市長  
信号機の設置は、いろいろな状況を参考にしながら長野県公安委員会というところで設置の決定をしています。この交差点はさまざまな状況を考え、黄色の一灯点滅式信号機が有効であると判断し設置されたものです。しかし、道路環境も変化しつつあるので、今後さらに安全な対策について検討していきたいとのことでした。市ではこれからも、中野警察署と協力して交通安全対策を進めていきますが、佐野さんも歩行者の一人として交通安全に心掛けていただき、一緒に交通事故のない安心で安全な中野市にしていきましょう。

《質問》 私は登下校中に学校の西側の交差点の近くを通ります。そこは事故が多く、とても危ない所です。安心・安全に通れるように要望が二つあります。一つ目は、横断がスムーズにできるように信号に歩行者専用ボタンを付けた方がよいと思います。二つ目は点滅式信号機を普通の信号に変えてほしいです。ぜひご検討ください。



佐野歩美 議員  
(平岡小)

事故の少ない安全な道路にしてください

《答弁》 小嶋教育長  
中野市教育委員会では、部活動に関係する人たちで会議を開き、どのような部活動を行うことが最も大切かを話し合ってきました。この結果、部活動の練習時間を1日2時間程度までとし、長くても3時間以内と決めました。朝練習も廃止とはしませんが、1日の練習時間の中で、効果的に行うことにしています。自転車での通学は、基本的には部活動のためでは認めていません。中学生はやることにたくさんありますが、時間を有効に使い、楽しい中学生生活を送ってほしいと思います。

《質問》 私は新聞を見て、中学校の部活の朝練はいしについて知りました。勉強に集中できなくなるのはよくないと思いますが、朝練をしないのもダメだと思えます。それから朝練のある日は、自転車を通えるようにしてほしいです。なぜなら中学校まで早起きして歩いていくとなるとかなり体力を使ってしまうので、朝練をやる前に疲れてしまうからです。



藤沢佳奈 議員  
(長丘小)

中学校の部活の朝練をいししないでほしい

《答弁》 池田市長  
コンビニエンスストアをつくるときは、周りのおうちや会社の数とか、人や車の通行量、土地の条件などによって、総合的に判断して決めているそうです。残念ながら、市がお店をつくるようお願いすることはできません。ただし、新幹線の飯山駅ができ、これから科野地区にいろいろな人が来たり、交通量が増えたりすると、お店ができることも考えられます。

《質問》 私たちの科野地区には駄菓子屋が少しあるくらいで、コンビニエンスストアのようなお店は一軒もありません。なので、お菓子などは買えますが、食材などは車で少し離れたところのコンビニエンスストアやスーパーに行かないと買えず、不便を感じています。中野市の方でコンビニエンスストアの会社にお問い合わせして、お店をつくらせていただけないでしょうか。



小林未奈 議員  
(科野小)

科野地区にコンビニエンスストアをつくらせてほしい







## 第2グループ

議長

山口柊妃さん  
(科野小)



《答弁》 小嶋教育長  
4月に実施した「平成26年度全国学力・学習状況調査」で、市内の小・中学生は、長い時間テレビやゲームをする人が全国より少し低く、読書をする人が多いという結果でしたが、メディアコントロールの効果もあるのではないかと思います。メディアコントロールは中野市の全ての学校、家庭、子どもたちに取り組んでもらいたい、すばらしい活動です。長丘小学校の皆さんは中野市のリーダーとしてこれから頑張ってもらいたいと思います。

《質問》 私たちの小学校では、月に1回第2木曜日に、メディアコントロールデーをやっています。このメディアコントロールは、テレビの見すぎ、ゲームのやりすぎのないようにするための日です。メディアコントロールをする  
と、本がいつぱい読めたり、家族と話ができたりするので、このメディアコントロールを中野市じゅうの学校でやれば良いと思います。よろしくお願いします。



吉家侑加 議員  
(長丘小)

メディアコントロールを  
中野市じゅうに広めよう

《答弁》 池田市長  
松澤さんが言っている公園は、平岡地区にある農村公園だと思えますが、平成20年に点検をしたところ、全ての遊具が地震の時だけでなく普段利用している場合でも危険との判定を受けたため、平成26年2月に撤去しました。その後については、新たな遊具は多額な費用が必要なことから設置をせず、地域の方々から要望をいただいていた駐車場としても利用できるようにしました。災害にも対応できる新たな公園の整備については、お住いの皆さんや関係の皆さんと相談してみたいと思います。

《質問》 私は、平岡地区に地震などの災害にも対応できる公園を作ってほしいと思います。ある公園の遊具が耐震性の低さから撤去されてしまいました。遊具が耐震性に優れたものならば、遊んでいるときに地震がきても、下敷きになるような事故を防ぐことができます。ぜひ、平岡地区に地震などの災害にも対応できる公園を作ってください。



松澤来春 議員  
(平岡小)

地震などの災害にも対応で  
きる公園をつくってほしい

《答弁》 小嶋教育長  
長野県の特徴として、夏が他の県より涼しくなるのが早いということですが、お盆あけの20日くらいから2学期が始まっています。多くの学校が、他県より10日ほど多い授業時間を使って、学校行事などの活動を充実させています。もし、授業時間を減らして休みの日を多くしたりすると、1日の授業時間を増やしたり、学校行事を見直したりしなければいけませんので、今すぐ休みを増やすことは大変難しいことと考えています。

《質問》 ぼくたちが夏休みを増やしてほしい理由は三つあります。一つ目は家の涼しい中で、集中して学習することにより、学力向上につながると思うからです。二つ目は、休みが長いとスポーツや読書をする時間が長くなり体力アップや学力向上にもつながると思います。三つ目は、他県に住む親せきと久しぶりにゆつくり過ごせると思います。このような三つのことをふまえて、夏休みを増やしてほしいと思っています。



山岸 成 議員  
(倭小)

夏休みを増やしてほしい

